

日本カリキュラム学会第22回大会 公開シンポジウム

カリキュラム研究のこれからと教科教育研究

教科が関係する専門分野の研究は、われわれの世界認識を変えていく。学校では、このような変化を教えなければならない。そのために教科教育はある。世界認識を変えた研究成果を教育内容として具体化し、新しい内容として加えるだけでなく、既存の教育内容の改訂や再編成も必要になる。そして、適切な教材を開発し、効果的な授業を実践していかなければならない。教科が関係する専門分野と社会との関係も変化している。専門分野の応用が社会を変え、社会の変化が応用のあり方を変える。このような変化にも学校教育は応えなければならず、上述と同様の教科教育研究が要求される。

カリキュラム研究は、このような教科教育の研究活動に対して、何を提示し、どのようにかかわることができるのか。カリキュラムという対象に多様なアプローチで迫ろうとするカリキュラム研究は、教科教育研究者に自らの成果を効果的に提示してきただろうか。そして、教科教育研究者はカリキュラム研究に何を期待し、どのようにかかわればよいのか。本シンポジウムでは、算数・数学教育と理科教育を具体例に、2つの研究分野の相互理解と協働の可能性を討論する。

司 会： 中野 和光（美作大学） 大野 栄三（北海道大学）

提案者： 太田邦郎（千葉大学）

「算数・数学の単元開発とカリキュラム研究
—神は細部に宿り給う—」

滝川洋二（東海大学）

「日本から発信する世界標準の理科カリキュラム」

安彦忠彦（早稲田大学）

「教科教育研究を主導するカリキュラム研究を！」

指定討論者： 佐藤広也（札幌市立石山南小学校）

日 時： 2011年7月17日（日）

9:30～12:00

会 場： 北海道大学学術交流館 講堂

問い合わせ先：日本カリキュラム学会第22回大会実行委員会
〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 北海道大学大学院教育学研究院 大野研究室
Tel: 011-706-3100 E-Mail: jscs22th@edu.hokudai.ac.jp